



北海道大学
HOKKAIDO UNIVERSITY

- 博士課程の修了者のキャリアパス拡充
- デジタル・イノベーション人材育成

産官学による
スマートシティ
推進



富良野市

- スマートシティに向けた実証実験企画検討
- 地域の産業・住みよいまち作りの推進

ORACLE

- スマートシティ/DXの推進
- クラウドネイティブ技術の普及



2021年8月11日 3者共同でのプレスリリース・記者向け説明会実施

Press Release

北海道大学、富良野市と日本オラクル、スマートシティ推進で連携

北海道大学の「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」において、日本オラクルのクラウド・サービスを活用したワークショップを実施し、富良野市の社会課題解決を支援

東京—2021/08/11

国立大学法人北海道大学（総長：實金 清博、以下「北海道大学」）、北海道富良野市（市長：北 猛俊、以下「富良野市」）と日本オラクル株式会社（執行役社長：三澤 智光、以下「日本オラクル」）は、富良野市特有の産業の発展、住みよいまちづくりに向け、同市のスマートシティ推進施策を共同で立案していきます。

2021年度北海道大学の博士課程学生を対象とした教育プログラム「スマート物質科学を拓くアンビシャスプログラム」¹の履修科目として、ワークショップ「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」を2021年8月30日（月）から6カ月間、計6回実施します。日本オラクルは、参加学生にコーチング、デジタル技術の活用およびデータ分析のトレーニングを行います。参加学生は富良野市から提示された2つの課題に対してオラクルのクラウド・サービスを活用したデータ分析および可視化を通して、施策の提案を行います。富良野市では、同市のスマートシティ推進施策の一環として、ワークショップから導き出された施策案を参考に実証実験の検討を行っていきます。

北海道大学では、2013年採択の博士課程教育リーディングプログラム「物質科学フロンティアを開拓するAmbitiousリーダー育成プログラム」を基盤として、2020年にアカデミアや産業界を問わず高度な専門性を生かせる博士の育成を推進し、大学院教育改革を支えるプ

今回、3つの機関が連携して実施する「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」プロジェクトにおいて、北海道大学は「Oracle for Research」²を利用することで、セキュアに手軽にデータ分析を行える「Oracle Autonomous Data Warehouse」や「Oracle Analytics Cloud」などの「Oracle Cloud Infrastructure」のクラウド・サービスを活用し、富良野市から提示された下記の2つの課題に対する施策の提案に取り組みます。



富良野市長 北猛俊氏



北海道大学 副学長／大学院理学研究院教授 石森浩一郎氏



日本オラクル 執行役員 公共営業統括 副統括 本多充

3社共同でのリリース、説明会（オンライン）

スマートシティ、DX、人材育成に向けて、産官学で連携し取り組んでいくことを発表



本ワークショップの構成・流れ



北海道大学スマート物質科学を拓く
アンビシャスプログラム

Ambitious program for smart materials science,
Hokkaido University

ワークショップ：北海道大学+富良野市+日本オラクルによる

「博士課程DX教育プログラム：北海道富良野市のスマートシティ推進支援」



2021.8.11 記者発表時の北海道大学講演資料より



本ワークショップで扱う、富良野市の地域課題

1. 地域産業の維持・発展

ふらのワインの販売促進について

富良野市が生産から収穫、製造、販売まで直営で行うワイン事業は、これまで富良野エリアを拠点として、道内主要都市を中心に販売してきましたが、近年の観光客の減少やCOVID-19の影響により販売本数は減少し厳しい経営状況となっています。

来年度、ふらのワインは50年目を迎えます。富良野市をフィールドとして「デジタル×ワイン」により、ふらのワインの販売促進に向けた施策の提案を期待します。



2. カーボンニュートラルの推進

ごみリサイクル率90%からカーボンニュートラル実現に向けて

富良野市は「燃やさない」「埋めない」を基本理念に14種の分別を市民の皆さんに協力いただき、リサイクル率は90%となっています。この取り組みは小学校の授業にも取り入れられ、ごみの分別とリサイクルは富良野市民の誇りとなっています。

また、富良野市は本年4月「2050年ゼロカーボンシティの表明」をしています。長い年月により培われてきたリサイクル率90%の取り組みから、カーボンニュートラル実現に向けた取り組みへと展開できる施策の提案を期待します。



2050年ゼロカーボンシティの表明について
我が国では、パリ協定の発効など国際的動向を踏まえ、昨年10月26日に菅内閣総理大臣の所信表明において、2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会の実現）を目指す表明がありました。
北海道においても、令和2年第1回定例会において鈴木知事が「北海道地球温暖化対策推進計画」で脱炭素社会を見据えた長期的な視点を踏まえ、「2050年までに温室効果ガス排出量をゼロを目指す」旨を表明しており、本市でも、「魅力と安心にあふれた大地ふらの」を未来に引き継ぐことができるよう、第3次富良野市環境基本計画・富良野市地球温暖化対策実行計画の施行初年度である令和3年度を機に、雄大な山並みと田園が織りなす風景や自然、肥沃な大地に育まれた食材等の富良野の魅力が次世代の未来につながっていくために「2050年脱炭素社会」を目指すことを表明します。
令和3年4月1日
富良野市長 北 猛俊



本ワークショップに対する北海道大学の狙い

- **社会を変革するDX**の可能性を**実感**し、その経験を将来、それぞれの**専門分野**で活かしていく

- **情報系以外の専門分野の大学院生**で構成し、**地域課題に近い目線**で課題解決案をに繋げる



本ワークショップへの日本オラクルの支援内容

スマートシティ実現に貢献するDXノウハウやプログラム、クラウド・サービスを提供

DX専門チームによる ファシリテーション



- コーチング、デジタル技術の活用、**データ分析のトレーニング**を実施
- 多領域のパートナー様との共創により得られた**スマートシティ関連のノウハウ**を共有し、**データドリブンな施策立案**を支援

大学・研究機関向けプログラム



- **Oracle for Research** : 科学者、研究者、大学向けの無償クラウド提供プログラム
- **大学発の革新的アイデア**を**社会にインパクト**を与える事業へと発展させる支援

安心・安全なOracle Cloud



- 日本の**政府機関等**が求める**セキュリティ要求**を満たした**クラウド・サービス**
- 短期間で**データ分析基盤**を構築し、**AI・機械学習**で**業務を効率化**
- 導き出された分析結果を元に、有益な**DX施策の立案**により**多くの時間を充てる**ことが可能に



ORACLE